

88. 原子力災害における保健師の役割と機能の探索的研究 (茨城県各市町村、県保健所)

(調査・研究)

実施時期又は期間

平成24年2月10日～3月20日

対応部局及び人員

保健学研究科 1名 【教員（保健師）】

実施の背景・目的

茨城県および県保健所と研究実施を調整の上、茨城県の東日本大震災における保健師の保健活動についての調査を実施した。

実施概要

平成24年2月8日から3月20日の期間で、研究者（保健師）を茨城県に派遣し、茨城県健康福祉部保健予防課長および茨城県ひたちなか保健所長の協力を得て、県保健所保健師および市町村保健師の保健活動を調査した。

効果又は結果

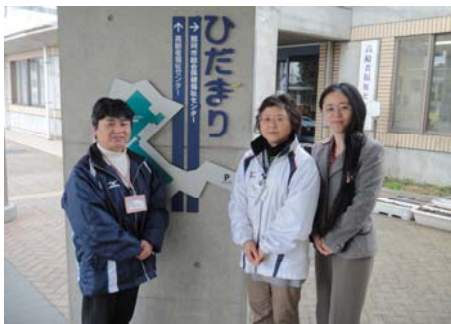
保健師への面接調査を行い、災害時の保健活動の蓄積に貢献した。市町村保健活動については弘前大学祭において、ポスター展示を行った。

今後の課題

茨城県においては、保健活動に対する人的支援がない中で活動を行っていた。行政および保健所の保健師の果たす災害時の役割について、今までのマニュアルが通用しない部分が課題として残った。特に原子力災害を伴う複数災害であったことから、課題も複雑になっている。

担当部局名

大学院保健学研究科



那珂市保健福祉部保険課保健センターでの調査



東海村保健センターでの調査